

【編集後記】日本のものづくり研究の水準は際立って高いのですが、その中心にいるのが藤本隆宏さん。年初の講演をお願いしたら私ごととかがと謙遜されましたが、予定時間を大幅に上回る熱弁で会員は大満足でした（ただし講演録はだいぶカットされています）。それにしても原稿チェックでもたいへんなご苦労をおかけしました。

年頭にふさわしいといえ、政治学の泰斗、佐々木毅さんも異論のないところでしょう。昨年末には学士院会員に選ばれたばかり、そのお祝いを司会で申し上げるべきところうっかり失念してしまいました。首相公選制や皇室典範など有識者会議での活躍も目立ちますが、後者では苦勞が多かったようで。

景気の節目をどう判定するか

は経済政策上、極めて重要ですが、遅滞なく的確に景気の出谷を判断するテクニクはプロ限定です。嶋中雄二さんはそこに命を賭けて取り組んでこられた、景気循環学会のリーダーです。ご尊父の関係で、出版界にもおのずと顔が広い。

北朝鮮に詳しい学者は立場上、バイアスがかかることがあります。辺真一さんは辛口で利害関係からは一歩置きながら半島への思いも強い、信頼できるジャーナリストです。金正日批判が続いて北へは長期に入学できませんでしたが、金正恩も率直に組上に上げているので、当分、事態は変わらないでしょう。

次号は伊藤元重氏（内外経済）、後藤謙次氏（政局見通し）、大武健一郎氏（日本の行方）、中岡望氏（米大統領選）です。（A*T）

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2012年3月号)

2012(平成24)年3月20日発行

本書内容の複写・複製・転載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 柴生田晴四 編集人 浅野純次

発行 東洋経済新報社
編集 社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉